

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 29 年度 第 4 回理事会 議事録

開催日時：平成 29 年 12 月 15 日（金）18：30～

開催場所：岐臨技事務所

出席者：後藤、早川、兼子、高木、浅野、松浦、川島、舟橋、佐々木、乙訓、林（泉）、青木、美濃輪、市川、帖佐、佐藤、高崎、柴、森、

欠席者：太田、林（博）、荒井、棚村、清水

議長：兼子

議事録：高木

高木部長より庶務部からの連絡事項があった。

日臨技より入金

平成 29 年度 10 月分、会費 1 名 10,000 円、入会金 1 名 500 円、臨床一般部門研修会助成金 37,500 円、11 月 30 日振込手続き完了しました。（高木部長）

日臨技より検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講率促進のお願いについて

受講者数が未だ本会会員の半数に留まっていますが、今後開催回数、開催場所を経時的に縮小しますので早期の受講促進をお願いします。（高木部長）

平成 30 年度中に、岐阜県担当で講習会が開催されますのでまだ受講されていない方の中から実務委員として受講可能です。出張費が日臨技から支給されます。（兼子会長）

日臨技より病棟業務に必要な能力開発実践研修会（臨床検査の活用に必要な後工程の集中能力向上トレーニング）開催についてのご案内がありました。

平成 30 年 2 月 11 日と 12 日、医療研修施設「ニプロ i-MEP」にて、実践を主体としてシミュレータを用いた少人数体制で行います。周知よろしくをお願いします。（高木部長）  
岐臨技 HP 掲載、定期便で配布指示しました（兼子）。

日臨技より「物忘れ相談プログラム」貸出申請書について一部文言の修正があり差し替えの依頼がありました。（高木部長）

日本臨床検査薬協会よりプロモーション地区委員会開催のご案内

2018 年 1 月 29 日（月）15：00 から 17：00。名古屋ダイヤビルデック（株）にて。

- ①体外診断用医薬品等の臨床研究におけるガイドライン（特に採用前検討について）
- ②透明性ガイドライン改定について
- ③医薬品適正広告基準について（誹謗中傷）
- ④公正取引に関する Q&A

可能であればご参加願います。(高木部長)

コスタ岐阜県庁前管理組合第 25 期通常総会が、12 月 22 日(金曜日) 19 時 30 分～O  
KBふれあい会館にて開催。

- 第一号議案 25 期収支決算及び事業報告に関する件
- 第二号議案 管理規約条文追加(民泊禁止)に関する件
- 第三号議案 個人情報保護法の改正に伴う対応に関する件
- 第四号議案 管理費等長期滞在者の対応に関する件
- 第五号議案 第 26 期収支予算及び事業計画に関する件
- 第六号議案 次期役員選任に関する件

高木出席します。(高木部長)

認定 MPO 法人 子宮頸癌を考える市民の会と日本臨床細胞学会細胞検査士会より「子宮  
頸癌を予防する日」4 月 9 日集中キャンペーン寄付依頼。

寄付は見送ることになった。(高木部長)

日臨技より「会員意識調査」並びに「会員施設実体調査」実施方法変更について 12 月 11  
日時点での集計報告があった。

会員施設実体調査は回答率 34.66%、岐阜県は 44.79%であった。

会員意識調査は回答率は 12.77%、岐阜県は 15.96%であった。(高木部長)

後藤理事より平成 29 年度 第 38 回ぎふ市民健康まつりについて報告があった。

11 月 5 日(日) 午前 10 時より午後 3 時 30 分まで、岐阜市文化センターにて。

事前準備は市民健康まつり運営会議(2 回 岐阜市より依頼)、市民健康まつりワーキ  
ング会議(2 回 岐阜市より依頼)、打ち合わせ会議(1 回 技師会)開催した。

前日準備は出席者(実務委員 6 名) 後藤 美香会員(岐阜市民病院)、高木 康雄理  
事(羽島市民病院)、早川 恭江理事(長良医療センター)、林 博之理事(東海中央病  
院)、内藤 斉理事(岐北厚生病院)、後藤 浩理事(揖斐厚生病院)。

11 月 4 日(土) 午後 5 時より会場準備を開始。レイアウトを検討し、使用する机や椅  
子のセッティング、案内用紙の貼り付け等を行なった。

消耗備品や器材等の備品については、高木が岐臨技事務所から自家用車にて会場まで  
搬送した。当日の駐車場は、井上精機(株)の駐車場・井上精機前のコインパーキング  
を使用した。

スタッフは、午前 9 時に、実務委員は午前 8 時に集合した。

使用機器(尿自動分析装置 US-2200 2 台、加速度脈波計 SPD-100 3 台、超音波診断  
装置 Xario™200 2 台)の設置を行った。機器は当日搬入した。(後藤理事)

スタッフの出席確認を行い、参加者 36 名の出席を確認した。

全体会合にて兼子会長の挨拶、全体説明の後、担当ごとに分かれ、機器の操作方法、検査手順等について打ち合わせを行った。

各部門の責任者は、尿検査は高木、血管年齢測定は内藤、頸動脈超音波は林、昼食を早川、総括を後藤が行った。午前 9 時 30 分に頸動脈超音波検査の整理券配布を開始した。

午前 10 時に「健康まつり」式典が開催され、兼子会長が出席、式典終了の 10 時 30 分より各コーナーにて検査を開始した。

10 時 30 分同会場で「スマートウェルネスぎふ健康ウォーク」開会式があり兼子会長が参加した。

昼食休憩は 11 時 30 分より担当ごとに交代で取った。午後 3 時 30 分の時点でイベントを終了とした。

終了後の撤収等について、後片付けはスタッフ全員で行い、使用した消耗備品などについては、高木が岐臨技事務所へ搬送した。

使用済み尿コップについては、高木が回収した。尿自動分析装置 2 台は高木が、加速度脈波計 3 台は後藤が撤収した。超音波診断装置は東芝が撤収した。

事後会議は、ぎふ市民健康まつり運営会議およびワーキング会議の合同会議（1 回 岐阜市より依頼）。

各検査コーナーの市民の参加人数は尿検査が 250 名（前年 224 名）、血管年齢が 769 名（785 名）頸動脈超音波が 183 名（202 名）、検査コーナー延べ参加人数 1,202 名（1,211 名）。「市民健康まつり」市民延べ参加人数 15,562 名（16,401 名）。

「スタンプラリー」参加者・用紙配布 1,800 枚のうち景品引換数 1,031、引換率 57.0%。

健康まつりの総括について、岐阜市から配布された当日の報告結果の資料ならびに当日の風景写真を別紙にて添付致しました。

当日は天候にも恵まれ、健康まつり会場の延べ参加人数は、岐阜市健康部健康増進課からの報告では 15,562 名とのことでした。（昨年度：16,401 名）

今回は、昨年に引き続き尿検査、血管年齢測定、頸動脈超音波を行いました。計 1,202 名と多くの市民の方に参加いただくことができました。

尿検査・血管年齢測定・頸動脈超音波、共に昨年とほぼ同数でした。

頸動脈超音波は、予約整理予約券 200 名を準備しましたが、整理券配布開始前から長い行列ができ、予定数を超えお断りするほど好評でした。

今年度も医師会とも連携を図りました。多くの市民の皆さんに各検査コーナーを通して、健康づくりへの意識づけへの手助けと検査技師の業務を知っていただけたのではないかと思います。

当日は 36 名（内 6 名は実務委員）のスタッフの協力の下、チームワークがよく運営できたと思います。次年度に繋げていきたいと思います。病人・ケガ人などなく、その他特に問題もなく無事終了することができました。参加スタッフをはじめ技師会・事務

所の方々のご協力に心より感謝申し上げます。(後藤理事)

後藤理事より平成 29 年度 第 38 回ぎふ市民健康まつり決算報告があった。

支出が機器リース料(フクダ電子 加速度脈波計 SPD-100) (32,400 円)、振込手数料 (540 円) 試料代(ウロペーパー、ティッシュ、ビニール袋など (14,913 円)、旅費日当 ワーキング会議・運営会議・当日・事前設営 (57,000 円)、旅費交通費 (26,900 円)、食卓費 (39460 円) 合計支出額 (171,213 円) であった。(後藤理事)

高木理事より岐阜地区から第 56 回岐阜県医学検査学会についての報告があった。

平成 30 年 3 月 25 日(日曜日) 午前 9:00 より受付開始、午前 9:30 より開催。学会会場は OKB ふれあい会館 3 階 大会議室 (302)。

実務委員は前日準備に 3 月 24 日(土曜日) 17:30 より会場設営を行う。

当日 3 月 25 日(日曜日) 午前 9:00 受付開始(スタッフは 8:30 集合し準備を行う)。

進捗状況は、学会長は岐阜大学医学部附属病院 臨床検査技師長 野久 謙先生、実行委員長は林 博之理事、事務局は高木 康雄理事、後藤 浩理事、早川 恭江理事、内藤 斉会員、武藤 次郎会員、森 晴雄会員。

演題募集し 12 題集まった。

ランチョン 2 社は富士レビオ(株)・ロシュ・ダイアグノスティック(株)。広告協賛は今のところ 1 社。

教育講演は清島 満先生(岐阜大学大学院医学研究科病態情報解析医学教授)。

市民公開講座は奥田昌子先生、講演内容は「日本人のための健康法とは」公開講座の広告掲載は 3 社(咲楽・広報 Gifu・GiFUTO) に依頼済み。一般演題座長は各部門長に依頼したいと思います。(高木理事)

学会プログラム(案)

9:00 ~	受付開始
9:30 ~ 9:40	第 56 回岐阜県医学検査学会開催 第 56 回岐阜県医学検査学会学会長挨拶: 野久学会長 岐阜県臨床検査技師会会長挨拶: 岐阜県臨床検査技師会会長
9:40 ~10:40	一般演題 6 例
10:50 ~11:50	教育講演: 清島 満先生
12:00 ~13:00	ランチョンセミナー (1) (2)
13:00 ~	市民公開講座 受付・入場開始
13:20 ~14:20	市民公開講座: 奥田 昌子先生
14:30 ~15:30	一般演題 6 例
15:30	閉会の辞: 実行委員長

西濃地区からは川島理事より平成 29 年度大垣市健康広場についての収支決算報告があった。

収入は、大垣市より保険事業委託金収入¥30,000。

支出は、血管年齢測定 フクダ電子よりダイナパルス 2 台貸出(32,400 円)、振込手数料(540 円)、骨密度測定 日本光電よりビーナス 1 台貸出(22,550 円)、振込手数料 (324 円)、人件費として第 1 回会議 (7 名) (7,000 円)、第 2 回会議 (9 名) (9,000 円)、健康広場当日 (11 名) (11,000 円)、交通費として第 1 回会議 (7 名) (2,200 円)、第 2 回会議 (9 名) (3,300 円)、健康広場当日 (13 名) (5,100 円) 食卓費として第 1 回会議 (7 名) (6,048 円)、第 2 回会議 (9 名) (8,757 円) 健康広場当日 (13 名) (14,040 円) 雑費として封筒代 300 枚 (2,091 円)、ウェットティッシュ (362 円) 日本光電記録紙+手数料 (4,147 円)

合計支出額 (128,859 円) 収支額 (-98,859 円) であった。(川島理事)

大垣市民病院から実務委員として大垣市健康広場に協力していただいた会員が今年度より保健所からの出張費が出なくなった。理事会から出張費を出して頂けないでしょうか。(松浦理事)

出張費支給します。(兼子会長)

飛騨地区からは船橋理事より秋季拡大研修会の報告があった。

平成 29 年度秋季拡大研修会は、平成 29 年 11 月 12 日(日)9:30~14:30、受付開始は 9:00 からであった。

会場は飛騨・世界生活文化センター。当日参加人数は日臨技会員 57 名、賛助会員 7 名、一般参加者 38 名、合計 102 名であった。

実行委員長が荒井亨理事 (久美愛厚生病院)、事務局長が舟橋信司理事 (高山赤十字病院)、実行委員が佐々木昭光理事 (須田病院)、倉家淳会員 (高山赤十字病院)、田口会梨会員 (下呂温泉病院)、市岡健人会員 (久美愛厚生病院) 実務委員が藤木誠会員 (下呂温泉病院)、山下博子会員 (須田病院)、岩畑喜代美会員 (高山赤十字病院)、北原佑貴会員 (高山赤十字病院)、松本信子会員 (高山赤十字病院)、菅沼康久会員 (久美愛厚生病院)、下田朋子会員 (久美愛厚生病院)、中切 健太会員 (久美愛厚生病院) であった。

広告協賛はアボット・ジャパン、シスメックス、アルフレッサファーマ、東芝メディカル、フクダ電子、富士レビオの 6 社であった。

講演は臨床生理検査部門が「臨床技師として知っておきたい認知症と原因疾患の事」名古屋市立大学 医学研究科地域医療教育学分野 特任教授 赤津 裕康先生、臨床検査総合部門が「接遇コミュニケーション~相手との信頼関係を築く傾聴スキル~」アボット・ジャパン山田 逸枝先生であった。

ランチョンセミナーは「精神科における光トポグラフィー検査」株式会社 日立製作所ヘルスケアユニット 藤原 倫行先生と「アルツハイマー型認知症早期発見の第一歩に物忘れ相談プログラムの有用性」日本光電株式会社 商品事業本部 検査機器部マー

ケティング課 山田 康裕先生であった。

市民公開講座は「どこまでわかる？認知症検査」須田病院認知症疾患医療センター長垣内 無一先生であった。(船橋理事)

平成 29 年度秋季拡大研修会収支決算は、収入が秋季拡大研修会参加費 59 名 (59,000 円)、資料集広告 6 社 (60,000 円) ランチョン 2 社 (100,000 円) 日臨技助成金 57 名×500 円+2 万円¥48,500、収入合計額 (267,500 円)。

支出が製本費として秋季拡大研修会資料集など 155,693 円)、外部講師謝礼金 3 名 (159,212 円) 日当 8 回 (53,000 円)、旅費交通費 (27,400 円)、食卓費 (82,909 円)、資料など送料 (8,234 円) 消耗品費 (タックシール、紙コップ等) (1,224 円)、飛騨・世界生活文化センター使用料 (会場費) (85,360 円) 振込手数料 4 件 (1,296 円) 支出合計額 (574,328 円) 収支合計額 (-306,828 円) であった。(船橋理事)

乙訓理事より中濃地区からの報告があった。

平成 29 年度 検査と健康展(関市)について報告があった。

12 月 3 日、わかくさプラザにて開催。高崎理事より、各部門企画の内容やレイアウト案、各部門の実務委員についての報告があった。(乙訓理事)

中濃地区次期地区理事選出について乙訓理事より報告があった。現在運用している輪番表では、辞退する施設も出てきているため、地区総会で輪番表の修正等を話し合う必要があると確認した。

他地区の理事選出方法などを参考して輪番表を作成する意見もあった。例として西濃地区では、主要な施設がメインで地区理事を担当し、小規模な施設は健康イベントなどで実務委員として積極的に参加するように組んでいることを浅野副会長より教えていただいた。

来年の 1 月頃に総会を行い、輪番表の修正を含めて次年度の理事選出の検討をする予定となった。(乙訓理事)

次年度理事候補者は中濃地区総会までに選出し地区総会で報告したあと、定時総会前に承認となります。(高木理事)

高崎理事より平成 31 年 第 58 回中部圏支部医学検査学会 第 2 回実行委員会についての報告があった。

11 月 10 日 (金) 18:30~20:00、岐阜医療科学大学で会議を行った。

出席者は浅野敦副会長(大垣市民病院)、高崎昭彦理事(岐阜医療科学大学)、佐藤恵彦理事(関中央病院)、藤井泰三会員(木沢記念病院)、田下智栄子会員(岐阜医療科学大学)、小枝勝会員(中濃厚生病院)、林 泉理事(美濃病院)、青木洋子理事(白鳥病院)、乙訓貴之理事(岐阜医療科学大学) 9 名が参加した。

浅野副会長から視察報告があった。受付やランチョンチケット配布場所の動線など、岐阜で開催するときに、改善できるところは実施していく事と実行委員で確認をした。

学生企画については、より臨床検査技師の仕事内容について盛り込めるといいとの意見であった。

高崎実行委員から、次回の岐阜会場の長良川国際会議場と今回の名古屋国際会議場の施設の比較や、機器展示・懇親会場についての報告があった。学会テーマについては各実行委員よりテーマ案を持ちより検討した。テーマ案を以下に示す。(高崎部長)

メインテーマについて

- ・「飛躍」
- ・「変革」

サブテーマについて

- ～ 臨床検査のパラダイムシフト，さらなる展開に向けて ～
- ～ 臨床検査のパラダイムシフト，新たなステージへ ～
- ～ 新たなステージを目指した教育改革 ～
- ～ 技術改革，教育改革，すべてはさらなる展開に向けて ～

実行委員で検討した結果、メインテーマは「飛躍」を推薦することとなった。副題(サブテーマ)は理事会で検討し決めていく事となった。(高崎理事)

今後の予定として、大会テーマの案を 11 月の常務理事会および 12 月の理事会で提案し、来年の 1 月までにサブテーマも含めて理事会で最終決定する。2 月に中部圏支部幹事会に提案する。実行委員会の活動は日程表に従って今後の予定を進めていきたいと確認した。

実行委員会の活動としては、来年 5 月ごろに役員及び実行委員の選定、その後、総会後に新たな委員を加えて実行委員会の発足を予定、必要に応じて会議を開く事と確認した。

実行委員会の会議について、開催時の出席については事務局が確認する。(高崎理事)

本理事会において理事全員の賛同によりメインテーマは「飛躍」サブテーマは「臨床検査」さらなる展開に向けて、に決定した。(高木理事)

帖佐部長より平成 29 年度代 2 回部門長会議のについての報告があった。

平成 29 年 12 月 5 日 (火) 18:30～20:00、技師会事務所。

出席者は浅野副会長、帖佐理事、近藤会員、関会員、石田会員、石郷(景)会員、林会員、渡邊会員、日高会員、八島会員、後藤会員 12 名、委任状は森会員と森本会員より受理。

①秋季拡大研修会・病院協会の参加報告。

②県学会進捗状況、広告協賛は 10 社を目標。一般演題不足にて各部門の新人に声掛けをお願いします。

③学術部今年度活動報告・来年度計画・予算作成急ぎます。

④日臨技学術奨励賞 特別賞 該当者について、締切りが平成 30 年 2 月 9 日。各部門長は該当者の確認、報告をお願いします。

⑤岐阜県臨床検査技師会会誌について、現在応募なし、各部門より 1 名推薦をお願いします。また今年度演題発表された部門員・会員の方へお声をお掛けください。生理部門 1 演題提出予定です。演題発表された演題でも受理します。

⑥日臨技総会座長推薦について、臨床科学（森さゆり会員）、血液（渡邊宜典会員）、免疫血清（石田秀和会員）を推薦します。

⑦平成 30 年度春季拡大研修会・担当は臨床科学と一般とする。テーマはこれから選考、担当は西濃地区、秋季拡大研修会の担当は病理と遺伝子とする。東濃地区担当。

⑧新人サポート研修会の日程は平成 30 年 5 月 27 日、場所は岐阜医療科学大学（高崎先生）に依頼する。今年度のアンケートは岐臨技HPにて閲覧可能である。

⑨来年度の検査と健康展について開催場所未定、持ち回り制となり岐阜・東濃・飛騨で検討予定。

⑩今年度の検査と健康展について、いきいきフェスタとの合同開催であったが来場者数は少なかった。昨年度までのショッピングモールとは違いフェスタ来場者のみのお客しか見込めなかったのも理由にあがる。生理部門は非常に忙しい一日でした。肺機能検査を行ったが衛生面で問題と思える事例があり次年度予定にマウスピース購入を申請したい。集客できるブース（何か検査ができる）と集客できないブース（パネルのみ）がありスタンプラリー・カードを配布し全ブースを回る仕組みを考えてはどうか。検査と健康展の趣旨は学生の臨床検査技志望を抱くようにとの旨であり来年度も引き続きご尽力をお願いします。（帖佐部長）

春・秋季拡大研修会では各部門長がテーマに沿って講師との渉外も行うが実行委員でないため事前打ち合わせなど実費で活動しないといけない。可能であれば当日の運営も行うとして実務委員の構成メンバーに入れてほしい。（浅野副会長）

実務委員として申請していただければ出張費支給します。

県学会の演題座長は全国のケースからも出張費は出ていませんのでこのままでいきたいとおもいます。

1 月常務理事会でもう一度整理します。（兼子会長）

技師会会員の中で退職者は学術研修会などお知らせが手元に届き難い状態にあるとの情報が寄せられています。情報のメール配信など退職者（施設勤務）に対し何か対策はないか（浅野副会長）

技師会から退職者に向けて今後の意思表示を尋ねる案内を検討していきたいと思います。（兼子会長）

部門長の資格規定などがありますでしょうか、との意見あり。平成 28 年度部門長会議資料より、当該部門の副部門長の経験があること。日臨技あるいは支部圏の学会で主発



表をしていること、過去 10 年以内で日臨技生涯教育を終了していること、役員（理事・監事）でないことが記されている。

日臨技生涯教育を終了するには基礎点の履修が必要です。総会・精度管理・健康祭など積極的に参加するように広報してください。

部門長の交代については 12 月 31 日までにお知らせください。来年度計画も同じです。

平成 31 年 10 月 12 日～13 日に第 58 回中部圏支部医学検査学会が開催されます。

長良川国際会議場、岐阜都ホテルにて。演題募集 150 を目標、岐阜県各部門より 10 演題は登録するようお願いいたします。（帖佐部長）

佐藤部長より精度管理事業部からの報告があった。

総括集は、12 月 22 日に発送予定、最終評価表、参加証も同封する。今年度は、経費節減（約 10 万円）のためモノクロ印刷とした。病理、細胞診、超音波などのカラー画像データは、岐臨技ホームページからの参照とする。（佐藤部長）

精度管理事業部報告会は、平成 30 年 1 月 28 日（日曜日）13：00～、東海中央病院。

特別講演は「医療法の一部を改正する法律について」講師は宮島 喜文会長、交通費のみ支払い、座長は精度管理部長、プログラム詳細は別紙。閉会挨拶は副会長。助成金 5 万円は申請中である。

第 3 回精度管理事業部会議は日時が平成 30 年 1 月 28 日（日曜日）10：00～報告会前に実施。会場は東海中央病院。

議題は今年度の反省と問題点および次年度計画等について。精度管理試料については、H30 年度の日臨技精度管理試料（臨床化学）は発注済である。90 本（各 2 濃度）参加 70 施設。2 次サーベイ 15 施設を見込み。配送はヤマトクール便でも可能である。（佐藤部長）

平成 29 年度岐阜県臨床検査技師会、当日の日程。

13：00	開会のあいさつ	兼子徹 会長
13：05	精度管理総括	佐藤恵彦
13：20	標準化総括	平光幹彦
13：35	臨床化学検査 I	渡邊景介
13：55	臨床化学検査 II	大森由佳里
14：05	免疫血清検査	武藤延秋
14：15	血液検査	渡邊宜典
14：25	一般検査	加藤雅子
14：35	休憩	
14：45	病理検査	片桐恭雄
14：55	細胞検査	酒井美穂

15 : 05	生理検査	野久 謙
15 : 15	微生物検査	長島敏之
15 : 25	輸血検査	八木良仁
15 : 35	特別企画	
	「医療法の一部を改正する法律」について 日臨技宮島喜文 会長	
16 : 35	閉会のあいさつ	
16 : 40	終了	
	である。(佐藤部長)	

高崎部長より広報宣伝部からの報告があった。

20日に広報誌の発行を予定しています。秋季拡大研修会、検査と健康展の記事をいただきました。

中部圏医学検査学会のメインテーマとサブテーマを記事に加えます。

各地区からの報告ではぎふ市民健康まつり、大垣市健康広場などは記事を頂きました。

全国検査と健康展も視察に行きましたので記事にしたいと思います。

各部門からは輸血と生物化学に依頼しており、現在記事待ちです。施設紹介は今回延期とします。(高崎部長)

柴部長より懇親会の案内があった。

平成30年2月24日(土)に名鉄岐阜駅前「くいもの屋わん」で懇親会を行います。ご参加ください。(柴部長)

柴部長より人材育成部会からの報告があった。

1.平成29年度 都道府県技師会リーダー育成研修会 企画書・予算書

2.平成30年度 初級・職能開発講習会 企画書・予算書

3.平成29年度 都道府県技師会リーダー育成研修会 ご案内について企画書ならびに予算書を提出いたします。(柴部長)

平成29年度 都道府県技師会リーダー育成研修会の企画書について以下のとおり企画し申請します。

平成30年3月4日(日) 9時10分から 17時30分まで、OKB ふれあい会館。

講習内容等について。

目的：医療情報や、臨床検査技師の未来や技師会活動のあり方について学び、組織目標達成に向けた考え方や、プロジェクト成功に向けた現状分析、課題解決力、企画立案など、マネジメントスキルを習得する。

カリキュラムは以下のとおりである。

9 : 10 受付開始

- 9:25 開会挨拶
- 9:30 講演①「医療情報、臨床検査技師を取り巻く状況の共有」  
講師：日臨技より役員派遣申請中
- 10:30 休憩
- 10:40 講演②「日本臨床検査技師会、都道府県臨床検査技師会の事業活動について」  
講師：兼子会長
- 11:20 休憩
- 11:30 講演③-1「組織目標達成に向けた事業展開の考え方について（仮）」  
講師：オーソダイアグノスティックス 増本隆 氏
- 12:20 休憩
- 12:30 ランチョンセミナー  
講演③-2「組織管理、人材育成など組織内における役割の理解（仮）」
- 13:20 休憩
- 13:30 グループディスカッション  
(グループは5組。5から6人)
- 15:30 プレゼンテーション大会
- 17:30 閉会挨拶

収入が受講料(60,000円)、日臨技助成金(35,000円)、都道府県負担金(15,220円)、合計(110,220円)。

支出が会場費(10,260円)、旅費交通費(20,000円)、諸経費(日当含)(38,960円)、食卓費(40,000円)、雑費(1,000円)、合計(110,220円)日臨技理事1名の交通費はこちらの予算書には含みません。(柴部長)

平成30年度初級・職能開発講習会 企画書については以下に通り申請します。

平成30年4月22日(日)8時30分から16時まで、岐阜大学医学部 会議室。

講習内容等について、

目的：職能団体として組織強化に取り組み、会員一人一人が今後の臨床検査のあり方について思考し、医療における多様なニーズに対応できる臨床検査技師を育成する。(柴部長)

カリキュラム：

- 8:30 受付開始
- 9:00 オリエンテーション
- 9:10 会長講話「医療情報と今後の方向性について」  
日臨技 会長 宮島喜文 氏 申請中

- 10：10 休憩  
10：20 基調講演「多職種連携医療で活躍する臨床検査技師」  
日臨技 からの講師派遣 申請中  
11：50 昼食  
13：00 グループワーク  
「多様なニーズに対する臨床検査技師のあり方」  
司会：県担当 講師：日臨技からの講師  
15：00 休憩  
15：10 eラーニング「自己学修支援システム」の概要説明  
15：50 閉講式  
16：00 終了

※グループワークは、6名1グループ。グループ単位でテーマに沿って意見交換を行い、討議されたことをまとめて発表する。

資料は日臨技より準備。期間は3年で（各県1回で）終了し、また新たな企画にする。（柴部長）

収入が、日臨技負担金（11,300円）、都道府県負担金（13,520円）、合計（24,820円）。

支出が、旅費交通費（11,300円）、諸経費（日当含）（6,520円）、会議費（5,000円）、雑費（2,000円）、合計（24,820円）日臨技理事2名の交通費はこちらの予算書には含みません。（柴部長）

平成29年度 都道府県技師会リーダー育成研修会 受講生募集についての内容は以下の通りである。

日臨技ではこれまで3回に亘り、都道府県における幹部育成を目的とした「地域ニューリーダー育成講習会」を開催してきました。それは、都道府県臨床検査技師会においてさらなる組織の活性化と強化を担う、次世代リーダー育成を目的としたものであります。そこでその一環として、都道府県主催の「都道府県技師会リーダー育成研修会」を開催致します。次のとおりに受講生を募集します。（柴部長）

#### 1. 研修会獲得目標：

- ①医療情報や国の政策を学び、臨床検査技師の進むべき未来や技師会活動のあり方について共有する。
- ②組織目標達成に向けた事業展開の考え方や、プロジェクト成功に向けた現状分析、課題解決力、企画立案などの手法を習得する。
- ③都道府県技師会、さらには日常業務にも活用できる、マネジメントスキルを習得する。

#### 2. 対象者：

岐阜県臨床検査技師会会員。年齢は問わないが、臨床検査技師として中堅以上の経験

を有する者が望ましい。別紙「参加申込書」(別紙1)を提出すること。

3. 募集人員：30名(応募者多数の場合、人数を制限することがあります)
4. 受講申込：「参加申込書」(別紙1)に必要事項を記入し申込み先にFAX願います。  
原本は講習会当日受付に提出ください。

【申込み先】

岐阜県臨床検査技師会 事務所 FAX:(058)213-0220

Tel:058-275-5596 E-mail: giringi-office@giringi.jp

5. 募集期間：平成30年2月16日(金)まで
6. 研修会期日：平成29年3月4日(日)9:10~17:30
7. 研修会会場：OKB ふれあい会館 小会議室401
8. 受講料：2,000円
9. 内容：別紙カルキュラム(別紙2)参照
10. 本研修会は日臨技生涯教育制度に事前登録しており、研修会参加者には基礎(20点)が認定されます。

平成29年度 都道府県技師会リーダー育成研修会会議出席者は鈴木敦会員、関敏秀会員、柴千春理事、市川浩良理事、兼子徹理事、浅野敦理事、森さゆり監事である。交通費支払合計額は(16,960円)である。

平成30年度 初級・職能開発講習会 実務委員会会議出席者は鈴木敦会員、柴千春理事、市川浩良理事、関敏秀会員、兼子徹理事、浅野敦理事、森さゆり監事の他実務委員3名、残り4名である。交通費支払合計額は(35,640円)である。(柴部長)


乙訓部長より会計報告があった。

9月までの月別決算表に年度予算と差額を掲載しました。

9月の経常収益計521,942円、9月までの経常収益計12,236,320円、(平成28年度実績では11,954,220円)、予算12,980,100円、差額-743,780円。9月の経常費用計1,120,110円、9月までの経常費用計5,661,754円、(平成28年度実績では6,209,944円)予算12,980,100円、差額-7,318,346円であった。(乙訓部長)

その他

平成30年度各部事業計画書を12月28日までに庶務部に送ってください。1月常務理事会で確認し2月理事会で承認後HPに掲載します。(高木理事)

議長 兼子徹 

議事録署名人 太田義和 

議事録署名人 森さゆり 

御  
印  
圖